



holypongのチャレンジ日記

このはてなダイアリは、私holypongが管理していますが、大阪暮らしが長かったので、一部脚色している恐れもあります。

はてなダイアリ以前の日記は [こちら](#)。

このはてなダイアリは、私のホームページ [Challenge to Creation and Entertainment](#) (180,000 Counts Over Since 1996)からリンクされています。

KEYWORD: [\[Mobile\]](#)/ [\[Robot\]](#)/ [\[Tech\]](#)/ [\[Book\]](#)/ [\[Web\]](#)/ [\[Entertainment\]](#)/ [\[Life\]](#)

<前の31日分 | 次の31日分>

2005-07-27 編集

[Robot] KHR-1の組立て

実は先週購入してくみ上げました。

基本的にネジ締め作業だけですが、そのネジ数は百本以上に及び電動ドライバー(デンドラ)でネジ締りを黙々と7時間ほど続けました。デンドラ無しではくじけていたことでしょう。">

もともと模型をつくる趣味がなかったので集中力を維持するのが大変でした。現在、[type U](#)に接続してモーションをつくっています。KHR-1はオプション追加によりいろいろなステップアップが可能になるのでこれからが楽しみです。

ようやくバーチャルロボットからリアルロボットを楽しめる時代になりました。遊んでいるだけでいろんなアイデアが湧いて来そうです。



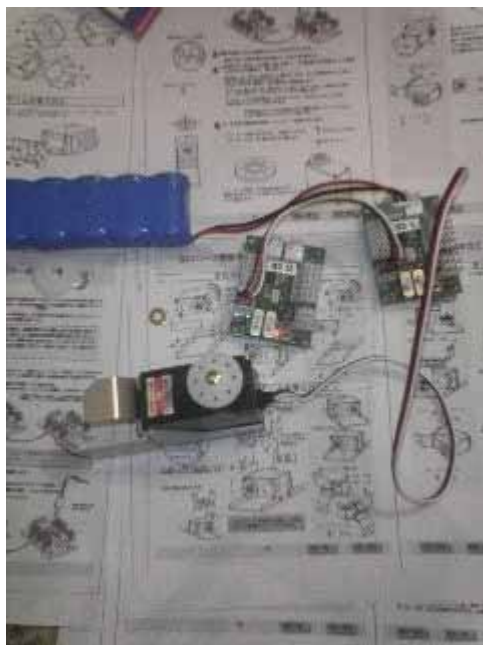
購入したばかりのKHR-1本体、無線ユニット、急速充電器。
あと、予備のギアとバッテリーなど。



組立て前の部品が収まっています。アルミフレームと標準17
関節分のサーボモータと2つのコントロールボード、バッテリー、
RS232Cケーブルなどが収まっています。



アルミフレームにサーボモータを取り付け。



サーボモータにサーボホーンを取り付けて原点出し。



完成直前。

[Robot] KHR-1のユーザーサイト

販売されてからだいぶ経ったのでインターネットにもたくさんのユーザーサイトが存在します。動作確認の方法については、ユーザーサイトの写真の方がマニュアルより分かりやすかったりします。

[石井英男のDigital Life](#)

[ロボット Robot KHR-1 Page Contents](#)

[KHR-1特集](#)

[コメントを書く]

2005-07-26 編集

[Robot][Tech][Mobile] 宿題

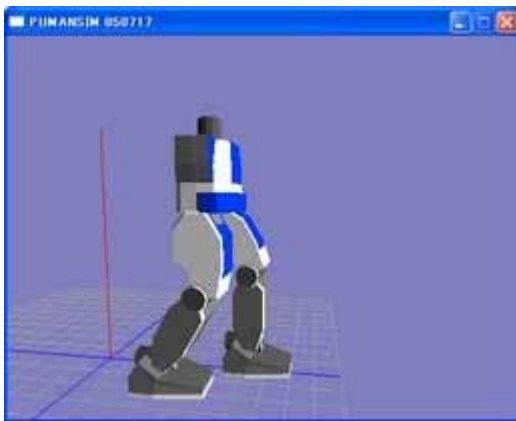
夏休みの勉強のための環境構築をしています。

「宿題」は、押し付けられるより自分で作ることの方が面白いし

やる気ができると大人になってから気づきました。



type Uと繋いで動いてますよ。



こちらは開発中のロボットシミュレータ。

[コメントを書く]

2005-07-23 編集

[Robot] 人気

関西唯一のホビーロボット専門店ロボットファクトリーの店長さんのお話では、「ロボカップ2005大阪世界大会」以降、テレビの取材も急増しお客さんの数もだいぶ増えたとか。今週か

ら世は夏休みに入っているようですので特に(私はまだまだ仕事ですが)。

また、外人さんの来店が意外に多いようです。香港、台湾、ドイツなどなど。私が店長さんと話している間にも、数組のヨーロッパ系の方が来られました。新しい名所になるかも。

2足歩行ロボットは、日本が世界に誇れる新しい技術、そして文化なのかもしれません。

[コメントを書く]

2005-07-19 編集

[Robot] ロボカップ2005大阪世界大会終了

連日テレビで中継され結構な賑わいだったようで。体調不良もろもろで行けなかったんですが。結果報告とハイライト画像が掲載されています。

<http://www.robocup2005.jp/index.php>

日本ではロボット = 2足歩行が人気のようで、"本体価格28万円のアイツ"(これだけでカンのいい人はわかる)が近日発売だそうです。コントローラ込みで約35万円と、おいそれと手が出せる価格ではないですが。



ヴィストーン株式会社

<http://www.vstone.co.jp/top/products/robot/T28/index.html>

[コメントを書く]

2005-07-17 編集

[Robot] ショップ

近場に用事があったこともあり、でんでんタウンを訪れたんですがほんと久しぶりです。昔はPDAの周辺機器とか工具とかここしかなくて来てたんですが、PDAの衰退とともに？だいぶ雰囲気も変わってしまって、、、

話は変わって、関西初(かつ唯一)のロボット専門店「ロボットファクトリー」へ行ってきました。

<http://www.robo-fac.jp/>

ショーウィンドウにはいくつものロボットが(残念ながら最新型は「ロボカップ2005大阪世界大会」へ出張中ということでした。当初私もそちらに行こうかと思っていたのですが体調不良により行くのを見合わせ)。

明るい店長さんのすすめで"KHR-1"を操作させてもらいました。これ一台あるだけでいろんな刺激を与えてくれそうで、ついついお持ち帰りしそうになりました。決して安い買い物ではありませんが、大阪の有志の方々がユーザフォーラムも開いているそうなので、動かすまでに一人で悩まなくても済みそうです。インターネット上に"KHR-1"の開発情報は多数上がっているので、もうちょっと整理してから検討してみようと思います。

[コメントを書く]

2005-07-16 編集

[Robot] Robot News

ファンタジスタはロボット ロボカップ2005開催(ITmedia)

「ロボカップ2005大阪世界大会」では、「サッカー」「レスキュー」「ジュニア」の3部門で熱戦が繰り広げられている。さまざまなロボットが躍動する様子はもはやマニアだけの楽しみではない。

<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/0507/15/news006.html>

ロボット産業、関西に育て 活性化へ産学官協力(朝日新聞)

ロボカップの会場と同じ大阪市住之江区のインテックス大阪に13日、全国のロボット研究者や経済団体の関係者らが集まった。大阪、京都、兵庫の3府県や企業、大学など100余りの機関・組織でつくる「関西次世代ロボット推進会議」が主催した「関西次世代ロボットフォーラム」(14日まで)で、参加者は最新の研究成果やロボット産業の育成に向けた課題などを話し合う。

<http://www.asahi.com/kansai/news/OSK200507140015.html>

ロボットが大道芸 日立「EMIEW」が愛・地球博の待ち時間に(ITmedia)

日立製作所のヒューマノイドロボット「EMIEW(エミュー)」が、愛・地球博の会場で路上パフォーマンスに挑戦。退屈な待ち時間が楽しいショータイムに。

<http://www.itmedia.co.jp/lifestyle/articles/0507/14/news079.html>

iROBOT--ロボット市場のリーダーは語る(CNET Japan)

iRobotは成長が期待される自律ロボット市場の初期の成功例となった。300ドル前後で売られている同社の掃除ロボット「Roomba」は、すでに120万台の販売実績がある。

<http://japan.cnet.com/interview/story/0,2000050154,20085389,00.htm>

[コメントを書く]

2005-07-15 編集

[Entertainment][Robot] ヒノキオ

巷ではこんな映画をやってます。



ヒノキオ

作者: 山下慧, 秋山貴彦

出版社/メーカー: 竹書房

発売日: 2005/07

メディア: 文庫

ロボット分野ではアールキューブ*1のお話です。

<http://www.star.t.u-tokyo.ac.jp/words/index-j.p>

hp

<http://www.mizuho-ir.co.jp/meme/200304/bunshin.html>

*1:アールキューブ (R-Cubed, Real-time Remote Robotics) テレグジスタンスの考え方に基づく次世代ロボット構想は、日本の通産省(当時)と東京大学などによる研究グループにより、1995年、「アールキューブ」という名称の構想としてまとめられた。アールキューブとは、「リアルタイム・リモート・ロボティクス(Real-time Remote Robotics:実時間遠隔制御ロボット技術)」という言葉の頭文字 = RRRを「Rの3乗」と表記し、それを「アールの立方体」という意味のアールキューブと読ませたものであり、これはネットワークを介して、誰でもリアルタイムに、ロボットをはじめいろいろな機器を自在に動かすということを目指した考え方である。すなわち、実時間遠隔制御によって、今いろいろな情報を自由に世界中でやり取りしているように、人間の行動というものが自由に伝わっていく仕組みを実現したい。それが、アールキューブ構想の目的なのである。なお、アールキューブの目指す社会を、SFの形で表現した『アールキューブ・ストーリー』がある。

[コメントを書く]

2005-06-01 編集

[Robot] 相互リンク追加しました

リンク集に、KIKUさんのサイト「21RoboTech」を追加しました、相互リンクとなっています。

<http://ww4.et.tiki.ne.jp/~robot-th/>

さて、私の本家サイトは、1996年11月から始めたのでもうすぐ9年とかなりの老舗サイトになりました。この間にロボットもインターネットもモバイルも大きく様変わりしました、としみじみ。

[コメントを書く]

2005-04-23 編集

[Book][Robot] ヒューマノイドロボット

二足歩行ロボット関係では有名な産総研の梶田工学博士の本です。

<http://www.mel.go.jp/soshiki/robot/undo/kajita.html>

**ヒューマノイドロボット**

作者: 梶田秀司

出版社/メーカー: オーム社

発売日: 2005/04/25

メディア: 単行本

[コメントを書く]

2005-04-22 編集

[Robot] LAND WALKER on TV

朝のめざましテレビで紹介されてました。知らなかった人は朝から目が点になったんじゃないでしょうか。

そのせいでしょうか、たくさんの方がこの日記(2005/04/05)にアクセスされたようです。

<http://d.hatena.ne.jp/holypong/20050405>

[コメントを書く]

2005-04-20 編集

[Robot] ネットワーク

ロボットラボラトリー、ロボット分野の“研究者ネットワーク検索エンジン”の実証試験を開始(ASCII24)

2005年4月18日

大阪市の次世代ロボット産業振興拠点“ロボットラボラトリー”は18日、研究者だけでなく、研究者の人脈も表示できる検索システム“研究者ネットワーク検索エンジン POLYPHONET(ポリフォネット)”の実証試験を同日付けで開始すると発表した。

POLYPHONETは、独立行政法人の産業技術総合研究所と特定非営利法人の研究開発型NPO振興機構が共同で開発したもの。研究者の専門分野やキーワード、研究者名を入力して検索すると共同研究室や共著などに関する公開情報を解析し、研究者がどのような領域でどのグループに所属しているか、どの研究者とのつながりが深いかといった人的ネットワークを抽出するのが特徴。これにより研究者への効果的なアプローチ法が分かるという。実証試験は、国内3600名の研究者データと、ロボットラボラトリーへの来場企業を対象として行ない、そこで発生する課題を元にさらにシステムの精度を上げる予定。

同システムを本格導入することで、関西圏だけでなく、全国のロボット研究者と連携した新しいサービスや製品を創出するための効果的な体制作りを目指すとしている。

[コメントを書く]

2005-04-14 編集

[Robot] ヤーヤーヤー

「QRIOが街にやってくる！ - QRIO Technology Tour (テクノロジーツアー)」スタート(ソニー)

ソニー株式会社は、小型二足歩行エンタテインメントロボットQRIO (キュリオ)の技術デモンストレーションを通じて最新の科学技術を楽しく体験できるイベントツアー「QRIO

が街にやってくる！ - QRIO Technology Tour(テクノロジーツアー)」を開催します。

本イベントは、大人から子どもまで、楽しみながらロボットや最新テクノロジーを深く知ることができる教育・娯楽イベントで、QRIOの様々なデモンストレーションを行うと同時に、それを支える技術の解説を詳しく行います。

4月29日(金), 30日(土)に実施される山梨県立科学館を皮切りに、1年間を通して10館程度の科学館における開催を予定しております。

<http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/Press/200504/05-021/>

[コメントを書く]

2005-04-13 編集

[Robot] nuvo受注生産開始

いつでもあなたのそばに「nuvo」。(公式サイト)

想像してみてください。ロボットがあなたの傍にいる生活を。時代は進化し今まで手の届かない未来の象徴だった人型二足歩行ロボットがついに家庭用として開発されました。2005年、新しいライフスタイルを提案するロボット「nuvo」の登場です！高さ39cm重さ2.5kgと小型軽量なので、いつでもどんな時もあなたと一緒に。あなたと一緒にいて、楽しんだり、見守ってくれたり近い将来にはわからないこと、知りたいことがあれば教えてくれたりスケジュール管理まで行ってくれる機能が搭載される予定です。ますます便利でカワイイ存在に進化し、頼れるパートナーとして様々なシーンであなたをサポートします。ZMPは、ロボットと共に生活することにより安全で快適なライフスタイルを創造することを目指しています。「nuvo」はそんな提案の第一歩となるロボットです。あなたも「nuvo」と一緒に新しいライフスタイルを感じてみませんか？

2005年4月1日現在、家庭向けに一般販売された世界初の人型二足歩行ロボット。



http://www.nuvo.jp/concept/nuvo_concept.html

二足歩行ロボット向けコンテンツを発表(ユビキタスエンターテインメント社)

<http://www.uei.co.jp/ubimemo/release/ubimemo-nuvo.pdf>

[コメントを書く]

2005-04-12 編集

[Robot] ひよこ

人間の知育玩具で遊ぶことで学び成長するモデルを構築したそうです。

鉄腕アトムへ一歩、思考型ロボットの技術発表 ソニー(asahi.com)

ソニー子会社で人工知能(AI)を研究しているソニー・インテリジェンス・ダイナミクス研究所は8日、過去の動作を記憶し、未経験の状況に対して自分で考えて行動するAI技術を発表した。「鉄腕アトム」のように、自分で経験を積んで判断するロボットの実用化への「第一歩」としており、5年以内に自動車や家電に組み込むなどして実用化するの

が目標という。

<http://www.asahi.com/business/update/0409/004.html>

「QRIO」、“勉強”に目覚める？(ITMedia)

<http://www.itmedia.co.jp/lifestyle/articles/0504/10/news002.html>

[コメントを書く]

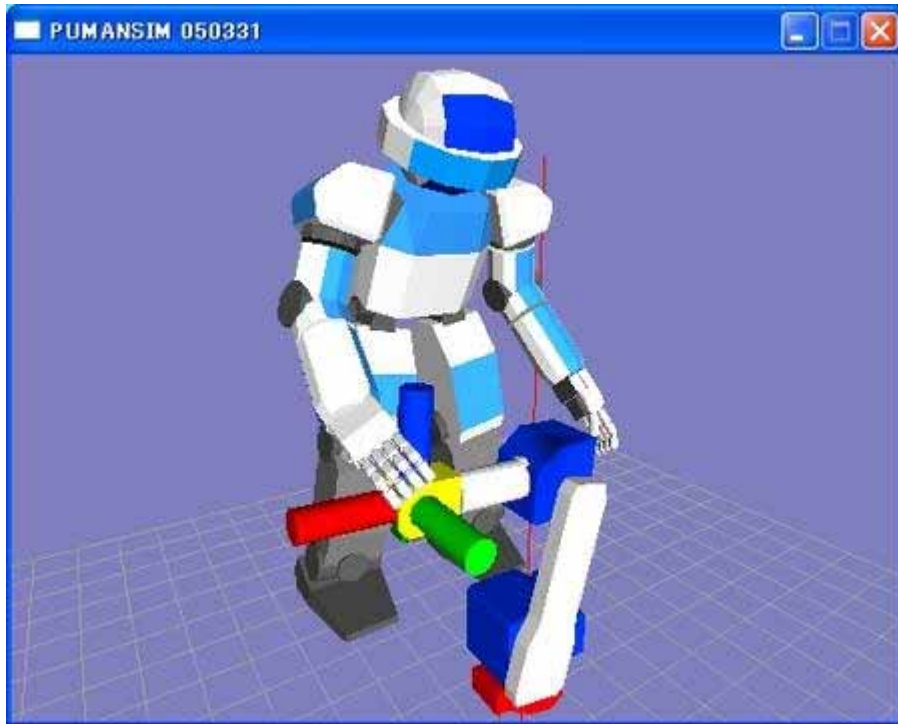
2005-04-06 編集

[Tech][Robot] 境界

「ロボット」にはいろいろな定義がありますが「リアル社会」においては、1960年代から工場で活躍しはじめた人の生産活動を肩代わりする産業向けの「産業用ロボット」と、1990代後半から工場を離れて家庭で遊び相手になったり、イベントを盛り上げるナビゲータになったりする(将来的には)個人向けの「パーソナルロボット」に大別されるでしょう。工学部出身の私にとっては「ロボット=産業用ロボット」でしたが、今の小中高生にとってはすでに「ロボット=パーソナルロボット」というイメージかもしれません。



これからは産業用ロボットよりもパーソナルロボットを表現できるロボットシミュレータが望まれそうということで、喋らせるための音声再生機能を盛り込んだりしているわけです。



[Book][Robot] パーソナルロボットの本

ロボットに興味のある中高生くらいから読めそうな本。日本ロボット工業会の監修です。



トコトンやさしいパーソナルロボットの本

作者: 日高俊明, 日本ロボット工業会

出版社/メーカー: 日刊工業新聞社

発売日: 2003/02

メディア: 単行本

[コメントを書く]

2005-04-05 編集

[Robot] LAND WALKER

榊原機械株式会社の搭乗型二足歩行ロボット「LAND WALKER」の動画を見ることが出来ます。



<http://www.sakakibara-kikai.co.jp/products/other/LW.htm>

4ペダル操作によるすり足二足歩行移動。ゴムクッション弾を撃つことができます。もし今「風雲！たけし城」があれば大活躍してくれるのに。

こちらは愛・地球博のライブで見ることが出来るトヨタの搭乗型二足歩行ロボット。



http://www.toyota.co.jp/jp/news/04/Dec/nt04_1201c.html

[コメントを書く]

2005-03-26 編集

[Robot] 実用ロボット



このところエンターティメント系ばかり紹介していたので、たまには実用系で。

院内で薬運ぶ、ロボット公開 岡山市の心臓病センター
- 榊原病院

心臓病センター榊原病院で本格導入された病院用ロボット「HOSPI(ホスピー)」(24日午後、岡山市) = 共同。カルテや薬品を持って病院内を行き来するロボット「HOSPI(ホスピー)」が24日、岡山市の心臓病センター榊原病院で公開された。

地下1階の薬局からエレベーターに乗り、1階の受付まで薬品などを届けるのが主な役目。障害物を回避しながら進み、廊下ですれ違う患者に「ごきげんいかがですか」と愛きょうを振りまくことも。開発した松下電工から2台計約2000万円で購入した同病院は、業務効率化だけでなく、「患者さんの気持ちを和らげる効果もあるのでは」と期待を込めている。



日経ネット関西版

<http://www.nikkei.co.jp/kansai/news/25619.html>

松下電工

http://www.mew.co.jp/epm/pmd/delica/iryo/iryo_hospi.html

PHSと無線LANによる遠隔監視、レーダ応用の自律障害物回避などにより、事前施工不要の搬送ロボットです。搬送ロボットは昔から工場には導入されていたのですが、床面に誘導テーブルを貼ったりや誘導ケーブルを埋め込む工事が必要だったり、行き先を指示するためのコントローラやステーションを設置する必要がありました。このホスピーは、工事コストを減らし、人件費を減らすという効果があります。しかしなにより「最先端技術を導入した病院として宣伝される」という集客効果を狙っているのは確かで、実用とはいえやはりエンターティメント

でもあるわけです。

[コメントを書く]

2005-03-24 編集

[Robot] いよいよ

愛・地球博が開催、多数のエンターテインメントロボットが登場します。

私の開発中のロボットシミュレータ公開もタイミングをあわせてと考えてましたが、もうちょっと機能を追加したり、マニュアルを書いたりしたいので、もう少し先延ばしになりそうです。GWまでにはなんとか。

[Robot] カタログ

資料を整理していたら「2003年国際ロボット展」のカタログを見つけました(仕舞っているのを忘れてた)。うーん、この年の産業用ロボットブースはイマイチ元気が無かった印象しかない、人の流れはエンターテインメント系ブースにばかり集まってたし。

国際ロボット展は隔年で行っているの、今年の11月に開催されますが、今年はどんな感じなんでしょーね。

[コメントを書く]

2005-03-19 編集

[Robot][Book] RoBolution

先日、偶然手に入れた本を読んでいます。2001年に発行された「Robolution 人型二足歩行タイプが開くロボット産業革命」という本です。現在開発しているロボットシミュレータに関

するいろいろなヒントが詰まっています、想像力が刺激されます。



RoBolution(ロボリューション) - 人型二足歩行タイプが開くロボット産業 革命

作者: 日経メカニカル, 日経デザイン

出版社/メーカー: 日経BP社

発売日: 2001/04/07

メディア: 単行本

この本の最後で「人型二足歩行ロボット研究機関のウェブサイト一覧、ロボット研究のポータルサイト」として、私のサイトが掲載されていてちょっと驚いた。

期待されているのか？じゃあ頑張ってみようか。

[Robot] 第7回ROBO-ONE

の決勝トーナメントが、明日インターネットでライブ中継されるようです。

<http://www.robo-one.com/>

[コメントを書く]

holypong

『結局、K-1よりROBO-ONEの方が断然マシだったか』

2005-02-05 編集

[Robot] エンターテイメント

購読している「日経エンターテイメント3月号」に「1万円台から手に入る”働きモノ”家庭用ロボットと一緒に遊ぼう！」という特集がありました。今やエンターテイメントロボットという言葉も定着しつつあります。二足歩行ロボットもDELLのノートパソコン

一台分で買える時代ですよ。



<http://shop.tsukumo.co.jp/special.php?id=050104a>

昔読んだ「ブラレス3四郎」には「最先端技術は戦争によって発展する。否、人々の夢・希望を実現するために発展するのだ」というテーマがありました。エンターテインメントロボットは、愛知万博に来場した子供たちにロボットは未来についていろんな夢を与えてくれると思っています。



ブラレス3四郎 (1)

作者: 牛次郎, 神矢みのる
出版社/メーカー: 秋田書店
発売日: 2001/05
メディア: 文庫

逆に、ウィル・スミスの「アイ, ロボット」はできれば見ないで欲しいです。

[コメントを書く]

2005-02-03 編集

[Robot] 空手とロボット

ROBO-ONEで優勝したA-Doというロボット開発者の談によると、「攻撃態勢で構えるモーションを、前6:後4のバランスになるようにしたら、相手から打たれたときに倒れにくくなった」とか「攻撃の際に、全身の体重を載せてパンチを繰り出すモーションを作成し、気持ちのよいダウンを奪うことができた。自分の体重と加速度を使えば、力強いパンチが打てることがわかった(物理学でも $F = m \times a$ で証明される)」という解説がありました。

最近までロボットというと二足歩行で歩くのがやっとだったのに、打倒の技術が研究される段階になってきたようです。

もちろん人間の身体は、剛体のロボットと比べものにならないほど柔軟で複雑な動きをするのでそのままトレースすることはできませんが、空手とロボットに興味のある一人として一度挑戦してみたいテーマだなあと思いました。

[コメントを書く]

2005-01-30 編集

[Robot] idog

喜怒哀楽を作曲して伝えるロボットが2005/4/2発売です。

対象年齢はやや高く10代後半から20代ですかね。デザインがクールです。

“作曲”する犬型ロボット登場(ITMedia)

歌ったり、曲に合わせて踊るだけのロボットはもう古い。セガトイズは、気分に合わせて“作曲”する犬型ロボット「idog」を発表。接し方によって曲調が変わるほか、スピーカーとしても利用可能だ。



<http://www.itmedia.co.jp/lifestyle/articles/0501/19/news090.html>

idogの公式ホームページはこちら

<http://www.idog-seгатоys.com/>

[コメントを書く]

2005-01-27 編集

[Robot] 踊れロボット

紹介するのを忘れてました。

ヒューマノイドロボットと踊り師範による会津磐梯山踊りの共演(産総研)

「静」的な有形文化財に対して、「動」的な無形文化財も多く存在しています。無形文化財の保存は主に人から人への直接的な伝承が主たる保存方法でした。これらの無形文化財に関しても何らかのデジタル的な保存技術が早急に確立されなければなりません。

<その結果、ロボットを踊らせました>



http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2005/pr20050112/pr20050112.html

動画は必見。このモーション実現のための馬鹿馬鹿しくも大真面目な研究内容が紹介されています。

[コメントを書く]

2005-01-25 編集

[Robot] 愛知万博その3

愛知と言えばトヨタのお膝元。万博には非常に力を入れているワケ。

トヨタでは人の役に立つことを目的として、パートナーロボットを開発している。アプリケーションはアシスタント、福祉、製造、モビリティ。顔は見る側によって色々な表情に見えるハニワや能面をイメージしてデザインされており、「和の心」、「もてなしの心」を表現しているそうだ。



<http://pc.watch.impress.co.jp/docs/2004/1203/toyota.htm>

トヨタロボットの概要

http://www.toyota.co.jp/jp/news/04/Dec/nt04_1201c.html

[コメントを書く]

2005-01-24 編集

[Robot] 愛知万博その2

盛り上がればいいなあ、と思い新聞記事を拾ってみる。

モノづくりの楽しさ 子どもたちに見てほしい
ロボフェスタ発起人会代表 大熊繁・名大大学院教授に聞く

愛知万博開催に合わせて開かれる「ロボット創造国際競技大会(ロボフェスタ)」の発起人会代表大熊繁・名古屋大大学院教授に、最新のロボット研究や大会への期待などを聞いた。

- 愛知万博ではロボットが活躍しそうですね。

「万博は、人工物と自然物、人間との共存を見せる場でもあります。これからの時代、ロボットがいかに人間社会に重要な役割を果たすか、科学技術の発展に何が必要かを、来場者と一緒に考えるいい機会になると思います」

<<他にもこんな質問が>>

- 愛知万博会場では、どんなロボットと出会えますか。
- ロボフェスタ開催の意義は。
- 将来は、どんなロボットが期待できますか。

http://chubu.yomiuri.co.jp/ban2003/tokushu/bantoku040103_1.html

[コメントを書く]

2005-01-23 編集

[Robot] 愛・地球博

愛知万博ではロボットに関する展示、とくに二足歩行ロボットなど試作段階のものが多数登場するようです。

愛・地球博 協会企画事業 「ロボットプロジェクト」

(財)2005年日本国際博覧会協会は、NEDO技術開発機構(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)との共催により、長久手会場内において、掃除・警備・接客など、実際に働く「ワーキングロボット」を始め、「プロトタイプロボット展」、「ロボットステーション」を中心とした「ロボットプロジェクト」を展開します。

<http://www.expo2005.or.jp/jp/N0/N2/N2.6/N2.6.6/index.html>

[コメントを書く]

2005-01-08 編集

[Robot] 自動車のロボット化

こんな記事があった。

私が渡り終わるまでRFIDタグで信号機を青にする

RFIDの応用としてつぎのようなシナリオが毎日新聞に掲載されていたようだ。

お年寄りや障害のある人にICタグを配り、あらかじめデータベースにしておく。外出時には胸にICタグを付けてもらい、センサー付きの信号機に近づくと、信号機を制御するコンピューターが、お年寄りや障害のある人であることを感知。青信号に切り替え、道路の向こう側の信号機センサーが渡り終わったことを感知するまでは、青のままにしておくことが可能だ。これで、横断の途中で信号が変わってしまい、事故に巻き込まれるような不幸なケースを減らすことができる。

<http://ubiks.net/local/blog/jmt/archives/003064.html#more>

車の運転する人には分かると思うが、お年寄りは横断歩道を渡らず道路を横切るのが常だと思う。あまり「技術の適材適所」とは思えない。

この場合、自動車側にモーションアイ(ロボットアイ)を装備する方が現実的で、歩道を歩いている人影を検知するセンサはすでに一部の高級車には装備されている。他にも車間センサなども、エアバックと同じく車に標準装備されるとよいのに。

[コメントを書く]

2004-09-24 編集

[Robot] ガンダムファクトファイル

DeAGOSTINI社から「週刊ガンダムファクトファイル」という本が刊行されました。全部で100号を予定しているので2年がかりです。私はそんなに付き合いきれません。

<http://www.de-club.net/gdm/>

私はファーストガンダムとZガンダムしか知りません。中学に入ってからバレーボール部活動に忙しかつたので放映時間までに帰れなかったのと、多くは田舎でリアルタイムに放映されなかったんですよ。だからタイトルは知ってても見たこともない作品って結構あるんですね。

[コメントを書く]

2004-07-17 編集

[Robot] 2004国際ウェルディングショー

に行ってきました、場所はインテックス大阪。今回は、安川電機、ファナック、ダイヘン、松下電器などのブースを流してみました。

会場は来場者が多くて結構な盛況でした。中国で自動車や電化製品をはじめとする生産工場が急増したことで、アジアを意識したプレゼンも増えていました。当然、海外からの来場者多かったようです。

ものづくりに関わる分野が生き生きとしているということは、ようやく日本も景気回復の兆しがあるということでしょうか。

[コメントを書く]

2004-07-07 編集

[Robot] 2004国際ウェルディングショー

が7月14日(水)～17日(土) インテックス大阪(大阪国際展示場)にて開催されます。溶接ロボットも多数展示されるらしいので覗いてみたいと思います。何かしらアイデアやヒントが得られるかもしれないので。無料入場券はゲットしたのでいつ行こうかな？

<http://jiws.v-ts.com/>

[コメントを書く]

2004-06-17 編集

[Robot]D-LIVE!!

4週にわたる週刊サンデーの「D-LIVE!!」の「援竜編」も今週が最終話。作者の事前調査の成果が際立ったストーリーでした。

私が以前紹介した過去の日記。

<http://d.hatena.ne.jp/holypong/20040610>

<http://d.hatena.ne.jp/holypong/20040603>

<http://d.hatena.ne.jp/holypong/20040526>

<http://d.hatena.ne.jp/holypong/20040112>



[コメントを書く]

<前の31日分 | 次の31日分>